

わくわく 本だな

11月



こんげつのおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

『ようかいえんにいらっしやい』(えほん)

白土あつこ/作・絵 ひさかたチャイルド



たぬきのばけたが、ようかいえんに、にゅうえんしました。「どろりんぱ!」とばけて、ようかいたちにいたずらするぞ。

『しょうてんがいはふしぎどおり』(えほん)

内田麟太郎/作 村田エミコ/絵 佼成出版社



だがしやさんにはいると、なぜかおばあちゃんがこどもになった! しょうてんがいは、ふしぎなことではいっぱいです。

『ドラゴンはスーパーマン』★

茂市久美子/作 とよたかずひこ/絵 国土社

ドラゴンがじゅもんをかけられ、カエルに大へんしん。空もとべなくなっていました。どうしたら、もどれるの?



『ルルル♪動物病院 走れ、ドクター・カー』

★★

後藤みわこ/作 十々夜/絵 岩崎書店

動けない小鳥を助けるために、さっそうとあらわれたタロー先生。ドクター・カーに乗って24時間、動物を助けます。



『ロード キャンピングカーは北へ』★★★

山口理/作 佐藤真紀子/絵 文研出版



ひきと久斗の父さんは、会社をクビになってしまった。それなのに、キャンピングカーを買って、家族で旅行にでかけると言い出す。

『宇宙人に会いたい!』(ちしきの本)

平林久/著 学研教育出版



宇宙人は本当にいる? 作者はアルタイル星に、電波でメッセージを送りました。返事は、返ってくるのでしょうか?

あたらしく はいった本

『 びじゅつかんへいこう 』(えほん)

ピーター・レイノルズ／絵 スーザン・ベルデ／文

なががわちひろ／訳 国土社



びじゅつかんはふしぎなところ。いろんな絵をみていたら、こころがどきどきしてくるよ。からだも、むずむずしてくるよ。

『 はっばのきつねさん 』 ★

岡本颯子／作・絵 あかね書房

木からおちたはっばが、きつねの女の子にばけました。きつねくんはおおよろこび。でもきたかぜがふいたら、いなくなっちゃった。



『 超救助犬リープ 』★★★

石黒久人／文 あも〜れ・たか／絵 学芸みらい社



リープは、たくさんの訓練をつんだ災害救助犬。ある日、救助に向かった現場で大すきなトレーナーがいなくなっていました。

『 世界一幸せなゴリラ、イバン 』 ★★★

キャサリン・アップルゲイト／著 岡田好恵／訳 講談社

イバンは、絵をかくことで有名なゴリラです。得意な絵で、赤ちゃんゾウを動物園から救う計画を考えます。



『 たいくつなトラ 』(えほん)

しまむらゆうこ／文 たるいしまこ／絵 文溪堂

おもちゃやに大きなトラのぬいぐるみがありました。子ねこは、じぶんもトラになりたいとしゅぎょうをはじめます。



『 ヘレン・ケラーのかぎりない夢 』(えほん)

ドリーン・ラパポート／文 マット・タヴァレス／絵

国土社



ヘレンは、目が見えず、耳も聞こえず、ことばも話せません。先生は、ヘレンに指で字をつたえる方法をおしえました。

『 3びきのお医者さん 』 ★★★

杉山亮／作 大矢正和／絵 佼成出版社

森の動物を診察しているウサギとリスとイタチのお医者さん。ついでに人間もみます。ある日、耳の治療におばあさんがきて…。



『 妖怪の弟はじめました 』 ★★★

石川宏千花／著 イケダケイスケ／絵 講談社



迅の兄は、完全無欠な小学生。大妖怪べんべろ太鼓の子どもだなんて知らなかった。妖怪たちが家にくるまでは！

『 コウノトリ よみがえる里山 』(ちしきの本)

宮垣均／文 兵庫県豊岡市の人々／写真 小峰書店

コウノトリは、日本で一度ずつめつした鳥です。兵庫県の豊岡市では、コウノトリを増やすため、たくさんのくふうをしています。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273